

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1・2 A(/) B(/)	<p>【オリエンテーション、スケーラー操作復習・シャープニング】</p> <p>① マニキン上でのスケーラー操作に習熟する。 ② シャープニングの意義と方法を理解する。 ③ シャープニングの器材を理解する。 ④ シャープニングの手技を理解する。</p>	<p>[キーワード]</p> <p>砥石、角度、カッピングエッジ</p>	<p>講義・演習</p> <p>○中向井 田島</p>
3・4 A(/) B(/)	<p>【口腔内観察・記録法①】</p> <p>① 必要な器具・器材の準備ができる。 ② 相互に口腔内の観察を行い、記録ができる。 (歯、歯肉、歯の付着物、沈着物、修復物・補綴物) ③ 探針、プローブを用いて歯面の検査ができる。 ④ リスクを管理し、安全に実習を進めることができる。 ⑤ ユニット、器具、材料を衛生的に使用し、管理できる。 ⑥ 患者(学生)を思いやる気持ちを持つことができる。 ⑦ 不測の事態(偶発事故)に対しても冷静に対処できる。 ⑧清潔域・不潔域の区別ができる</p>	<p>[キーワード]</p> <p>硬組織の状況、歯周組織検査、プローピング、動揺度、歯石、OHI、PMA、PCR、ミラーテクニック マキシラアングル、ヘッドローテーション、ポジション</p>	<p>演習</p> <p>○田島 中向井 A班のみ 美馬</p>
5・6 A(/) B(/)	<p>【口腔内観察・記録法②】</p> <p>① 必要な器具・器材の準備ができる。 ② 相互に口腔内の観察を行い、記録ができる。 (歯、歯肉、歯の付着物、沈着物、修復物・補綴物) ③ 探針、プローブを用いて歯面の検査ができる。 ④ リスクを管理し、安全に実習を進めることができる。 ⑤ ユニット、器具、材料を衛生的に使用し、管理できる。 ⑥ 患者(学生)を思いやる気持ちを持つことができる。 ⑦ 不測の事態(偶発事故)に対しても冷静に対処できる。 ⑧清潔域・不潔域の区別ができる授業</p>	<p>[キーワード]</p> <p>硬組織の状況、歯周組織検査、プローピング、動揺度、歯石、OHI、PMA、PCR、ミラーテクニック マキシラアングル、ヘッドローテーション、ポジション</p>	<p>演習</p> <p>○田島 中向井 B班のみ 美馬</p>
7・8 A(/) B(/)	<p>【歯面研磨】</p> <p>① 歯面研磨に必要な器材を理解する。 ② 歯面研磨の目的と手技を理解する。 ③ 相互スケーリングの手順と注意点を理解する。</p>	<p>[キーワード]</p> <p>歯面研磨、RDA 値、歯面研磨剤、コントラアングルハンドピース、カップ、ブラシ、PTC</p>	<p>演習</p> <p>○中向井 田島</p>
9・10 A(/) B(/)	<p>【相互スケーリング①】 (上顎シクル操作・歯面研磨)</p> <p>① 必要な器具・器材の準備ができる。 ② 相互に口腔内の観察ができる。 ③ 探針を用いて歯面の検査ができる。 ④ 相互で部位に応じたスケーラー操作ができる。 ⑤ 相互に部位に応じた歯面研磨を適切に実施できる。 ⑥ リスクを管理し、安全に実習を進めることができる。</p>	<p>[キーワード]</p> <p>シクルスケーラー、把持法、適合、レスト、側方圧、医療安全部位別操作、エキスプローリング、ミラーテクニック、歯面研磨、PTC、操作方向、摩耗 マキシラアングル、ヘッドローテーション、ポジション</p>	<p>演習</p> <p>○田島 中向井 A班のみ 美馬</p>

	<p>⑦ ユニット，器具，材料を衛生的に使用し，管理できる。</p> <p>⑧ 患者(学生)を思いやる気持ちを持つことができる。</p> <p>⑨ 不測の事態(偶発事故)に対しても冷静に対処できる。</p>		
<p>11・12</p> <p>A(/)</p> <p>B(/)</p>	<p>【相互スケーリング②】(下顎シクル操作・歯面研磨)</p> <p>① 必要な器具・器材の準備ができる。</p> <p>② 相互に口腔内の観察ができる。</p> <p>③ 探針を用いて歯面の検査ができる。</p> <p>④ 相互で部位に応じたスケーラー操作ができる。</p> <p>⑤ 相互に部位に応じた歯面研磨を適切に実施できる。</p> <p>⑥ リスクを管理し，安全に実習を進めることができる。</p> <p>⑦ ユニット，器具，材料を衛生的に使用し，管理できる。</p> <p>⑧ 患者(学生)を思いやる気持ちを持つことができる。</p> <p>⑨ 不測の事態(偶発事故)に対しても冷静に対処できる。</p>	<p>[キーワード]</p> <p>シクルスケーラー，把持法，適合，レスト，側方圧，医療安全部位別操作，エクスプローリング，ミラーテクニック，歯面研磨，PTC，操作方向，摩耗マキシラアングル，ヘッドローション，ポジション</p>	<p>演習</p> <p>○田島 中向井</p>
<p>13・14</p> <p>A(/)</p> <p>B(/)</p>	<p>【相互スケーリング③】(上顎キュレット操作・歯面研磨)</p> <p>① 必要な器具・器材の準備ができる。</p> <p>② 相互に口腔内の観察ができる。</p> <p>③ 探針を用いて歯面の検査ができる。</p> <p>④ 相互で部位に応じたスケーラー操作ができる。</p> <p>⑤ 相互に部位に応じた歯面研磨を適切に実施できる。</p> <p>⑥ リスクを管理し，安全に実習を進めることができる。</p> <p>⑦ ユニット，器具，材料を衛生的に使用し，管理できる。</p> <p>⑧ 患者(学生)を思いやる気持ちを持つことができる。</p> <p>⑨ 不測の事態(偶発事故)に対しても冷静に対処できる。</p>	<p>[キーワード]</p> <p>キュレット，把持法，適合，レスト，第1シャンク，側方圧，医療安全部位別操作，エクスプローリング，ミラーテクニック，歯面研磨，PTC，操作方向，摩耗マキシラアングル，ヘッドローション，ポジション</p>	<p>演習</p> <p>○田島 中向井 美馬</p>
<p>15・16</p> <p>A(/)</p> <p>B(/)</p>	<p>【相互スケーリング④】(下顎キュレット操作・歯面研磨)</p> <p>① 必要な器具・器材の準備ができる。</p> <p>② 相互に口腔内の観察ができる。</p> <p>③ 探針を用いて歯面の検査ができる。</p> <p>④ 相互で部位に応じたスケーラー操作ができる。</p> <p>⑤ 相互に部位に応じた歯面研磨を適切に実施できる。</p> <p>⑥ リスクを管理し，安全に実習を進めることができる。</p> <p>⑦ ユニット，器具，材料を衛生的に使用し，管理できる。</p> <p>⑧ 患者(学生)を思いやる気持ちを持つことができる。</p> <p>⑨ 不測の事態(偶発事故)に対しても冷静に対処できる。</p>	<p>[キーワード]</p> <p>キュレット，把持法，適合，レスト，第1シャンク，側方圧，医療安全部位別操作，エクスプローリング，ミラーテクニック，歯面研磨，PTC，操作方向，摩耗マキシラアングル，ヘッドローション，ポジション</p>	<p>演習</p> <p>○田島 中向井 A班のみ 美馬</p>
<p>17・18</p> <p>A(/)</p> <p>B(/)</p>	<p>【パワースケーラー操作 基礎】</p> <p>① 超音波スケーラーについての基礎知識を復習し，基本技術を修得する。</p> <p>② エアスケーラーについての基礎知識を復習し，基本技術を修得する。</p> <p>③ 模型上で超音波スケーラーとエアスケーラーの操作法を体験し，それぞれの特徴を理解する。</p>	<p>[キーワード]</p> <p>磁歪式，電歪式，超音波，音波，圧縮空気，使用角度，側方圧，振動数，キャビテーション，エアロソル</p>	<p>演習</p> <p>○中向井 田島</p>

	④ メインテナンスの方法について理解を深める.		
19・20 A(/) B(/)	【パワースケーラー操作 超音波スケーラー操作実習およびバキューム操作実習】 ① 超音波スケーラーの基礎知識を復習し、基本技術を修得する. ② 超音波スケーラーの特徴を理解し、口腔内で安全、適切に操作できる. ③ 器械のメインテナンスについての理解を深め、実際に行うことができる. ④ 術者、アシスタントとしての適切なバキューム操作ができる. ⑤ イリゲーションについて知識と技術を習得する	[キーワード] 磁歪式、電歪式、超音波、音波、 圧縮空気、使用角度、側方圧、振動数、 キャピテーション、エアロソル、 イリゲーション	演習 ○中向井 田島
21・22 A(/) B(/)	【パワースケーラー操作 エアスケーラー操作実習およびバキューム操作実習】 ① エアスケーラーの基礎知識を復習し、基本技術を修得する. ② エアスケーラーの特徴を理解し、口腔内で安全、適切に操作できる. ③ 器械のメインテナンスについての理解を深め、実際に行うことができる. ④ 術者、アシスタントとしての適切なバキューム操作ができる.	[キーワード] 磁歪式、電歪式、超音波、音波、圧縮 空気、使用角度、側方圧、振動数、 キャピテーション、エアロソル、 イリゲーション	演習 ○中向井 田島 美馬
23・24 A(/) B(/)	【口腔内観察、記録法まとめ】 ① 必要な器具・器材の準備ができる. ② 相互に口腔内の観察を行い、記録が適切にできる。 (歯、歯肉、歯の付着物、沈着物、修復物・補綴物) ③ 探針、プローブを用いて歯面の検査が適切にできる. ④ リスクを管理し、安全に実習を進めることができる. ⑤ ユニット、器具、材料を衛生的に使用し、管理できる. ⑥ 患者(学生)を思いやる気持ちを持つことができる. ⑦ 不測の事態(偶発事故)に対しても冷静に対処できる.	[キーワード] 硬組織の状況、歯周組織検査、プロー ピング、動揺度、歯石、OHI、PMA、 PCR、 マキシラアングル、ヘッドローテーシ ョン、ポジション	演習 ○田島 中向井 A班のみ 美馬